

CiDER テクニカルセミナー

超高感度 & マルチプレックス 自動イムノアッセイ装置のご紹介

体液サンプルから、もっと高感度かつマルチプレックスにバイオマーカータンパク質を定量したいと思ったことはありませんか？

NULISA（ヌライザ）法は、そんな望みを適えることのできる新たなテクノロジーです。

NULISA テクノロジーは、微量タンパク質を fg/mLレベルの測定感度で定量可能です。

シングルプレックス絶対定量からマルチプレックス相対定量まで可能なため、探索的なプロファイリングからターゲットを絞った臨床応用研究まで、1つのプラットフォームで対応します。



こんな方におすすめ

- 神経疾患、感染症、免疫疾患、癌などのバイオマーカー研究を行っている。
- 臨床プロテオーム研究を行っている。
- OlinkやSomaScanを活用している（検討している）。
- イムノアッセイの測定感度不足で困っている。

開催日時 2025年 9月 29日（月） 13:30～15:00

開催方式 ハイブリッド同時開催（要：参加登録）

会場 CiDER棟共創スペース（7-9階吹き抜け）

演者 株式会社スクラム 先進バイオ事業部 服部 徹

参加登録はこちら

<https://forms.cloud.microsoft/r/5CKMZAeAfU>



【お問い合わせ】

大阪大学 感染症総合教育研究拠点（CiDER）
共用実験室 原 info.coref@cider.osaka-u.ac.jp
06-6879-8877